

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島学園
児童・生徒数 27名
学校だより 1月号
令和7年1月21日発行

百人一首にける思い

校長 西田 裕之

担任時代、毎日子どもたちに百人一首をさせていた。国語の授業の開始は百人一首と決まっていた。チャイムと同時に、「ご用意よければ空札一枚～」という私の声で授業が始まる。札の準備ができていない子、遅れて教室に入ってくる子は慌てる。しかし、基本的に待たない。どんどん進める。そこで待ってしまうと、時間を守っている子どもがかわいそう。そうやって鍛えることで、子どもは時間を守るようになっていく。

話が逸れたが、「五色百人一首」といって、100枚の札を5色に分けることで、1試合20枚、時間にして3分程度で終わるものがある。東京教育技術研究所が開発したもので、全国に五色百人一首協会が存在し、私も昔、鹿児島県の理事として、県大会の運営に携わっていた。そして、教え子たちを連れて参加していた。残念ながら、2018年の第17回大会を最後に、現在は、鹿児島県大会は開かれていないようである。

毎日やることで、子どもたちはみるみるうちに札を覚えていく。「むらさめの つゆもまだひぬまきのはに きりたちのぼる あきのゆふぐれ」だったら、札には下の句の「きりたちのぼる あきのゆふぐれ」しか書いていない。しかしながら、私が「むらさめの～」と上の句を読み始めた瞬間に、ばしっと取る子が出てくる。もっと言えば、「む」で手が動く強者も出てくる。このような子どもたちの成長がたまらなく嬉しかったことを思い出す。

千年にわたり継承されてきた日本の伝統文化である百人一首。そして、江戸時代の教育では、幼い頃からそれらの「素読」が行われていた。それは、意味理解よりも、何度も声に出すことで、言葉を体に刻み込む学習法である。これにより、全ての学習を支える言語的な基盤が養われていく。デジタルがもてはやされる昨今だが、このようなアナログの学びの重要性も、私は自分自身の手応えをもって、今後も語っていきたいと思う。

1月11日の土曜授業の日に、本校初めての試みとして、新春かるた・百人一首大会が開かれた。係から企画を聞いたときは本当に嬉しかった。子どもたちも短い練習期間で一生懸命覚え、本番を迎えたようである。ぜひ続けたい取組の一つである。

保護者・島民の皆様、遅ればせながら、明けましておめでとうございます。出張のため、1月1日元旦の朝5時にフェリーに乗り、悪石島に着く少し前、7時16分、水平線に上る初日の出を拝むことができました。鹿児島にいるとなかなか見ることができない水平線からの初日の出に感激し、令和7年も良い年にするぞという決意を新たにすることでした。その直後、猛威を振るうインフルエンザにもれなく罹ってしまい、始業式に校長不在という大失態。遅れを取り戻すべく、頑張ります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

新年の新たなイベント

1月11日(土)、かるた・百人一首大会を開催しました。今年度新たな取組として実施しました。5年生以上は百人一首に挑戦しました。2学期後半から厳選した20首を学習し覚えていきました。始めのあいさつなどの作法についても知り、練習を重ねました。本番は、地域より参加の敦志さんも加わりトーナメント戦を行い、5年生の光さんが見事優勝しました。今回は20首でしたが、次回は100首に挑戦しましょう。4年生以下は鹿児島カルタなどのかるたで競いました。新学期早々、元気な声が体育館に響き渡る楽しい時間でした。寒い中、参加くださいました島民の方々もありがとうございました。次回はまた日程等を工夫して多くの方々に参加いただけるようにしたいと思います。

白熱の決勝戦の様子



伝統の行事を体験！！

12月21日(土)は、いろいろな行事を体験することができました。

朝9時に集合しての宮参りでは上の宮と下の宮へのお参りをしました。回り周り方や回数などに不思議なきまりがあり、古くから伝わる伝統に従って、児童生徒が役割を果たしました。

午後からは、自治会主催でしめ縄作りと餅つき大会が催されました。藁を手に取り、先輩方に教えていただきながら、悪戦苦闘しながらもしめ縄を体験できました。最長老のシマさんも藁を握ると手が勝手に動くかのようにどんどん縄を作っていました。温めた石の臼での餅つきも全員が体験し、でき上がったお餅を美味しくいただきました。これまでの良い伝統を体験し、これからも伝えていきたいと感じることができた一日となりました。



神聖な儀式に緊張しました



先輩方さすがです。濡らして、きれいな藁を選ぶのがコツだそうです。

CBTでの試験

鹿児島学力・学習状況調査(5・7・8年対象：県内・毎年実施)が行われました。今年変わったのは、今回からCBT(Computer Based Testing コンピュータを使用した試験)になったことです。画面に映った問題にキーボード等を使って解答を入力していき、送信することで結果が出るテストです。タブレットなどを使いこなすことと、実際に手を動かして書くこと、どちらも大事に力をつけていきたいものです。

2月までの主な行事予定 ※予定は変更する場合があります

- 1月21日(火) 学校薬剤師来校 薬物乱用防止教室&社会教育学級(健康について)
- 2月
- 6日(木) 後期課程進級説明会(6年生対象)
- 8日(土) スポーツレク(パッゴ) 14:30~16:00 学校体育館
- 10日(月), 12日(水) 後期課程学年末テスト
- 21日(金) 学年末PTA・授業参観